2022 年 6 月

中村恵理

ロータリー月例報告　Vol.9

留学先：リバプール熱帯医学校（LSTM: Liverpool School of Tropical Medicine）

写真 1: リバプール市内

写真 2: クラスメイトとの食事

写真 3: インクルーシブ教育を実施している学校

多くのクラスメイトが母国やリサーチフィールドへ続々と出発する中、リバプールに残って研究しているクラスメイトと時折息抜きに外出をしています。最近は卒業後の進路に関して話すことが多くなりました。多くのクラスメイトが卒業後、紛争地や緊急地を含む発展途上国での勤務を希望しています。同じような夢に向かって頑張るクラスメイトの存在はとても心強いです。いつもお互い励まし合いながら、夢に向かって歩むプロセスはとても楽しく、とてつもなく幸せであると改めて実感しています。また、本校の特徴として留学生が 90%以上を占めるという多様性があります。カナダ人や台湾人のクラスメイトが母国の料理をふるまってくれたり、私は海苔巻きの作り方を教えたりと大学に残って研究している組はまるで家族のようによく一緒に食事をしています。多少不格好であっても自分自身で海苔巻きを作れたことがクラスメイトにとっては大変嬉しかったようで、難しくとも自分でやってみることの大切さを改めて彼らから教わりました。

私の担当ロータリークラブに以前学校で勤務していたロータリアンがおり、その学校に訪問させて頂く機会がありました。当学校は障がいがある児童とない児童が一緒に学んでいる学校であり、イギリス国内でも大変珍しい学校です。障がいの枠自体を取り払ったインクルーシブ教育は日本を含め世界から多くの注目を集めていますが、スタッフや費用、自治体との協力など実現には多くの課題が残っており、実施したくとも実現できていない国と地域がほとんどです。当校教員は、障がいのあるなしに関わらず、子供たちがやりたいと望んだことは自分自身の力で実現できるということを知ってほしい。そのためにこの学校があり私たちがいるのだと教えてくれ、大変感

動いたしました。これからも子供たちや、障がい者と関わっていく私にとって大変学びの多い訪問となりました。